

活用ナビ

①【ねらい】どのようにして農家の米づくりが行われているかわかる。

- ②● ①から②までの写真を見て、米づくりの作業について順番に書きましょう。
- それぞれの作業について説明を読み、カレンダーの棒のところに色をぬりましょう。

- ③● ①から②までの作業について、気づいたことを書きましょう。
- ※田植えや稲刈り以外にも様々な作業があることに気づかせる。
- ※使用される機械の種類にも着目させ、作業ごとに違っていることに気づかせたい。

- ④● ①から②までの作業の他に、どのような作業がありますか。
- ※写真以外にも多くの作業があること、時期によっては複数の作業を並行して行っていることに気づかせる。

- ⑤● 「三輪さんの米づくりカレンダー」から、どのようなことがいえるでしょうか。
- ※米づくり農家は一年間を通じて様々な作業を行っていること、作業ごとに機械や道具、肥料や農薬等が必要なことをつかませたい

5年-4

2-1 米づくりのさかなな地域
一年間の米づくり

P66～P67

名前

5年 組 番

①【ねらい】どのようにして農家の米づくりが行われているかわかる。

- ②【基本】「三輪さんの米づくりカレンダー」について
- ①から②までの写真を見て、米づくりの作業について順番に書こう。

イ 田おこし → ウ しろかき → エ 田植え
→ オ 除草 → カ 稲かり

●それぞれの作業について説明を読み、カレンダーの棒のところに色をぬろう。

③【ポイント】①から②までの作業について、気づいたことを書こう。

・田植えや稲かり以外にも、田おこし、しろかき、除草などの作業がある。

・トラクター、田植え機というように作業ごとに使う機械が違っている。

・4月からずっと作業が続いている。

・写真の他にもさまざまな作業があり、米づくりは多くの手がかかっている。

④【ポイント】①から②までの作業の他に、どのような作業があるのだろうか。

・種まき・苗づくり ・肥料をまく ・水の管理

・肥料を加える・農薬をまく ・乾燥・もみすり・出荷

・機械や道具の整備・かたづけ

⑤【ポイント】「三輪さんの米作りカレンダー」から、どのようなことがいえるだろうか。

・米づくり農家は1年を通じてさまざまな作業を行って、米を作っている。

・3月から種もみの準備に入り、田植え後も除草や水の管理で忙しい。

・米作りには作業にあった機械や道具、肥料や農薬、水などが必要である。

資料の読解

この資料は米づくり農家の三輪さんの一年間の作業の様子をカレンダーに表したものである。そのうち田植えや稲刈りなど、5つの作業については写真でその様子が紹介されている。米づくりの作業といえば、稲刈りと田植えしかイメージできない子どももいるであろう。そのような子どもたちにとって、米づくりの流れを知るのに適した資料である。

写真を見ていくと、解説でその作業の内容がわかるだけでなく、水田の変化の様子が理解ができる。また、作業に使われる機械が異なっていることも理解しやすい。カレンダーに目を向けると、3月から11月まで何かしらの作業が継続的に行われていること、時期によっては複数の作業を並行して行わなければいけないことがわかる。さらに、この資料から、いくつもの機械や道具、肥料や農薬が必要なこともわかる。

子どもたちにとっては米づくりの流れだけではなく、様々な発見ができる資料である。

読解の方法

- (1) 資料は見開き2ページのうち半分ぐらいのスペースを占める。写真とカレンダーが中心のシンプルな資料であるが、情報量が多いので、最初は写真について読み取っていきたい。5つの作業の解説が書かれているので、その作業名と内容をまずは理解させる。そのうえで、気づいたことを考えさせる。米づくりでは様々な作業が行われていること、作業ごとに機械の種類が違ふこと等に子どもたちは気づくであろう。
- (2) 次にカレンダーからわかることを読み取らせたい。田植えの2ヶ月前の3月から稲刈りの2ヶ月後の11月の終わりまで作業が続くこと、7月には除草・水の管理・肥料や農薬まきを並行して行わなければいけないことに気づくであろう。なお、子どもたちにとっては初めて聞く用語も出てくるので、各種資料で調べさせたり、教師が説明したりして、理解を深めるようにさせたい。
- (3) 写真とカレンダーで子どもたちが読み取ったことを踏まえて、資料からどのようなことがいえるか考えさせ、資料からの読み取りのまとめとする。